

発見！白井の仕事人 43

夢を生む空間デザインのトータル企業、株式会社樹楽製作所

今回は白井工業団地に工場を構える(株)樹楽製作所を紹介しま



職人の作業の様子

同社は都内で内装工事の会社を営んでいた佐々木社長が、かつて父の興した白井工業団地の家具工場の事業を継承する人がいないことを知り、これ

を買って受けて生かすことを考え、2013年4月に内装と家具製作の融合する新会社として創業しました。オーダーメイドの家具製造、内装仕上げ一式、木工事、その他付帯工事の請負を主な事業とし、社名には「樹を使っ

て楽しんでほしい」という思いがこもっているそうです。創業から数年にも関わらず、すでに業界での評価は高く、誰もが知る有名IT企業や大手カフェチェーンの内装も数多く手掛り、今後の成長を見込んだ東南アジアへの進出も果たしています。躍進の理由を尋ねると「異素材を組み合わせて作れる強みがあり、品質に徹底的にこだわる」と社長は語ります。強みはそればかりではなく、働く人のモチベーションが高まるシステムがあり、そうしたアイデアを次々と繰り出す社長の存在も

気付かされます。例えば、チーム制で社員を競



ワークショップの子どもたち

わせる「企業内ベンチャー制度」は、自ら企画・製作・販売に

発見！白井の仕事人 44

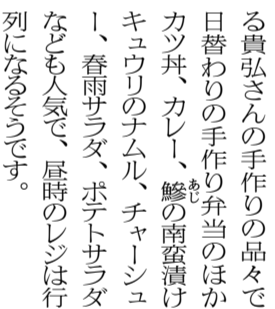
地域と人を大切にしている、有限会社山口屋

今回は白井地区で古くから親しまれている(株)山口屋を紹介し



山口屋の店舗

山口屋は白井市商工会副会長の山口善弘さんが経営するスーパーで「暮らしなんでもお助け隊」のメンバーにもなっています。



善弘さん手作りの「278円弁当」

山口屋は創業120年となる老舗で、昔は道の反対側に白井第一小学校の前身となった白井高等小学校があり、その開校に合わせて1896(明治29)年に曾祖父の喜字治さんが文房具屋を開いたのが始まりです。

その後、子どもたちや地域のニーズに添えられるよう、いろいろな商品を取り扱うようになりました。ガソリンスタンドも経営していましたが、店の前を国道16号が迂回していたとき、車の渋滞が激しくなったためスタンドの経営をやめ、食料品中心の店になりました。

1974(昭和49)年に4代目として善弘さんが店を継ぎ、1990(平成2)年に全日食チェーンに加盟して現在の基礎を築きましたが、バブル崩壊や近隣に大型店ができた影響を受け、経営が厳しいときが続きました。そこで、15年前に奥さん

から提案のあった惣菜に力を入

れ、現在は店の入り口に「惣菜スーパー山口屋」の文字を掲げるようになった。また、7年前から息子の貴弘さんが始めた、店の目玉となる手作り弁当「278円弁当」の旗が店頭にはためいています。人気商品は、飲食店経験のある貴弘さんの手作りの品々で、日替わりの手作り弁当のほか、カツ丼、カレー、鱈の南蛮漬け、キュウリのナムル、チャーシュー、春雨サラダ、ポテトサラダなども人気で、昼時のレジは行列になるそうです。

善弘さんは地元で育てられて、「同じ土地で暮らす者同士で仲良くしていきたい、人を大切にしたい」という思いがあり、高齢化で配達に頼る年配者が増えている現状に対して、「家族経営のため時間帯など限られるところもあるが、できるだけ応えていきたい」と話してくれまし

た。地元の皆さんから愛されている山口屋の手作りの品々を味わってみませんか。

山口屋 電話(492)0512 午前7時〜午後8時 日曜定休

発見！白井の仕事人 45

白井で育った日本のグローバルニッチトップ企業、株式会社シルド



(株)シルド千葉工場

今回は50年の歴史を持ち、白井工業団地の最初の進出企業で経済産業省「日本のグローバルニッチトップ企業100選」(特定分野で高いシェアを有し、国際競争力を発揮している企業)にも認定されている株式会社シルドを紹介し



熱間圧延で加工している様子

同社は、鉄やステンレスの「異形引抜製品」とステンレス平・角鋼の専門メーカーで、創業以来、製造、技術部門で取り組みをしてきた小林専務取締役によると、東京の日本橋浜町にあった鉄鋼問屋モタイが大元で、当時の社長が日本で普及していなかった異形引き抜きという金属加工法に着目し、1966(昭和41)年に白井工業団地内にモタイトップ製鋼所を設立し製造を始めた。その後、1976(昭和51)年に鉄鋼問屋モタイがシルドに、モタイトップ製鋼所がシルド鋼業に社名を変更し、2000(平成12)年に両社が合併し現在に至ります。

「異形引抜加工」は、金属素材に力を加えて目的の形を作り出す「塑性加工」の一つで、高温の熱間圧延で完成形に近い形に加工後、常温で金型の中を通して引き抜くことで精度の高い形を作り出すものです。機械で

切削するより材料のロスが少ないのが特徴で、優れた金属性質の製品を得られる反面、高度な技術と時間が必要です。国内外の原子力発電の分野で認められる高い技術力を有し、少量多品種の高精度製品をオーダーメイドで一貫生産できる国内唯一の企業です。

世間一般での認知度は高くありませんが、同社の製品がなくては成り立たない高性能製品が、ちまたに多くあります。航空機、自動車など4,000社以上に製品を供給し、同社部品を組み込んだ製品が海外でも大きなシェアを獲得しています。現在、日米欧協力のもと建設を始めた核融合炉の部品製作に取り組んでいます。今後の目標を尋ねると「品質では世界に認められる存在となった。しかし、難易度の高い形状では歴史がある大規模な企業を構築しているEU企業に及ばないところがあり、早くこれに追いつきたい」と答えてくれました。高精度な製品と技術をもつ(株)シルドの今後の取り組みに注目していきます。

商工振興課商工振興班 内線3241